Logitec

Bluetooth Ver.3.0 class 2
Bluetooth ワイヤレスヘッドホン
Bluetooth 送信機セット

LBT-TVOH03ABK 取扱説明書

Vo.1

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書はBluetoothヘッドホンの使用方法や、安全に取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書をいつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

接続のときに必要な情報です

●携帯電話やパソコンなどから検索するときの本製品の名称	LBT-OH03
●パスキー	0000（ゼロ4つ）

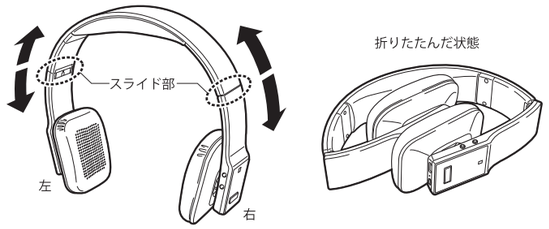
※パスキーはBluetooth2.1以降の規格の機器と接続する場合は省略できる場合があります。

各部の名称とはたらき

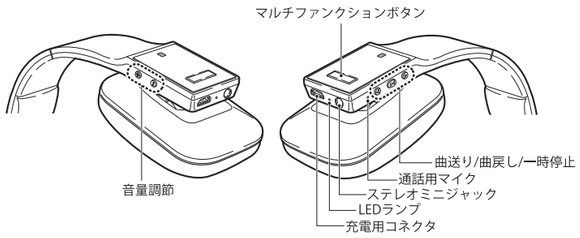
Bluetooth ヘッドホン LBT-TVOH03

マルチファンクションボタン	電源のオン / オフ、ペアリング、受話 / 終話などに使うボタンです。
充電コネクタ	充電するときに、付属の USB ケーブルを差し込みます。
LED ランプ	電源やペアリングの状態を示す赤、青 2 色の LED ランプです。
ステレオミニジャック	市販のφ 3.5mm ステレオミニケーブルで、ミュージックプレーヤーなどの AV 機器と接続することで、有線のヘッドホンとして使うことができます。 ※ステレオミニケーブルは付属しておりません。
通話用マイク	ハンズフリーで使用するマイクです。
曲送り / 曲戻し / ー時停止ボタン	曲送り、曲戻しができます。また、ー時停止ができます。※
音量調整ボタン	音量を大きくするときは ⊕ を押し、音量を小さくするときは ⊖ を押します。
スライド部	サイズが合わない場合には、スライド部をスライドさせると、ヘッドバンドの長さを調節できます。 ※持ち運びの際にコンパクトに折りたたむこともできます。

※AVRCP（リモコン機能）に対応した機器と接続した場合、接続先機器の音楽再生/ー時停止ができます。AVRCPに対応していない場合は、ミュートになります。

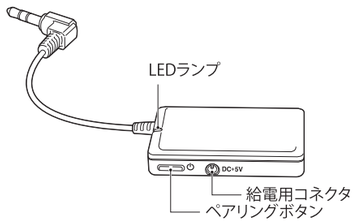


※操作ボタンが付いている（Rのマークがある）側が右になります。



Bluetooth 送信機

LED ランプ	電源やペアリングの状態を示す赤、青 2 色の LED ランプです。
ペアリングボタン	ペアリングの操作のときに使用します。
給電用コネクタ	付属の給電用 USB ケーブルを接続します。



■ヘッドホンの機能とLEDランプの表示

	マルチファンクションボタンの操作	LED ランプの状態
電源オン	電源がオフのとき、約4秒間の長押し	消灯→青色で点滅
電源オン後の状態	いずれの機器とも接続されていない状態	青色で 3 秒置きに 2 回の点滅
	接続時（SBC）	青色で 8 秒に 2 回の点滅
	接続時（AAC）	青色で 8 秒に 1 回の点滅
	接続時（aptX）	青色で 8 秒に 3 回の点滅
電源オフ	電源がオンのときに 4 秒以上長押し	赤色で点滅→消灯
充電中	ー	赤色で点灯
充電完了	ー	消灯
バッテリー容量不足	ー	30 秒間隔で赤色で 2 回点滅
ペアリングモード	電源がオフのときに 8 秒以上長押し	赤色と青色で交互に点滅
ペアリング完了	ー	青色で数回点滅
電話を受ける / 切る	電話着信時、通話中に 1 回押す	ー

本製品の使い方

お使いになる前に

ヘッドホンを充電する

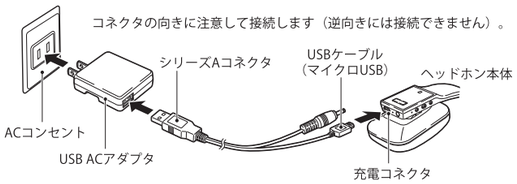
お使いになる前に、ヘッドホンを充電しておく必要があります。充電には付属のUSB充電ケーブルを使用します。

充電時間は、約3時間です。充電が完了し、LEDが消灯したら充電ケーブルを取り外してください。安全のために、充電終了後の通電を避けることを推奨します。また、充電中は本製品を使用しないでください。

1 ヘッドホンに充電ケーブルを接続する
付属のUSBケーブルのマイクロUSBコネクタを、製品本体の充電コネクタに接続します。

2 USB充電ケーブルをUSB ACアダプタに接続する
付属のUSBケーブルのシリーズAコネクタを、USB ACアダプタのUSBポートに接続します。充電中は、LEDランプが赤色で点灯します。

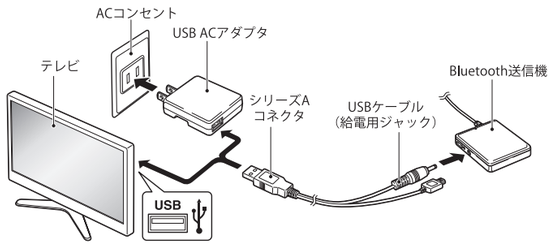
3 LEDランプが消灯したら充電完了です



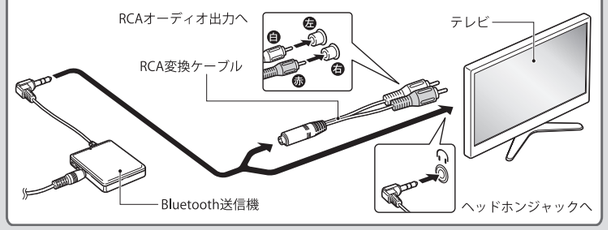
テレビと接続する

1 Bluetooth送信機に給電用ジャックを接続する
付属のUSBケーブルの給電用ジャックを、Bluetooth送信機の給電用コネクタに接続します。

2 USB ACアダプタまたはテレビのUSBポートに接続する



3 Bluetooth送信機をテレビに接続する
テレビのヘッドホンジャック、またはRCAオーディオ出力を使って、テレビとBluetooth送信機を接続します。
※テレビの音声出力端子の詳細は、テレビの取扱説明書を参照してください。



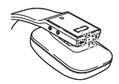
ペアリング（機器の登録）の方法

Bluetooth送信機とヘッドホンをペアリングする

テレビの音声を本製品のヘッドホンで聴くには、テレビと接続したBluetooth送信機とヘッドホンをペアリングする操作が必要です。

●ペアリング情報は8台まで記憶できます。9台目を登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。

1 ヘッドホンをペアリングモードにする
本製品の「電源がオフの状態」から、マルチファンクションボタンを8秒以上押し続けます。LEDランプが赤⇔青交互に点滅し、ペアリングモードになります。



●意図しない機器と接続されてしまう場合やペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、電源を切ってからやり直してください。
●すでにペアリング済みの機器が周囲にある場合は、LEDが点灯した時点でボタンから手を離してかまいません。
●ペアリングモードは2分で切れます。2分を経過しても機器と接続できないときは、自動的にスタンバイモードになります。

2 Bluetooth送信機をペアリングモードにする
Bluetooth送信機のペアリングボタンを3秒押して離します。LEDランプが赤⇔青交互に点滅し、ペアリングモードになります。

3 ヘッドホンとBluetooth送信機のLEDランプが4秒毎に3回の点滅に変わると、ペアリングの完了です。
注意：Bluetooth送信機とヘッドホンのLEDランプの点滅に時間差があります。両方完全に青色の点滅になることを確認してください。

Bluetooth送信機に2台の機器を同時に接続する方法

Bluetooth送信機は2台のヘッドホンへ同時に送信可能です。
2台目をペアリングする方法を説明します。

●同じコーデック(SBC/aptX)のヘッドホンをご用意ください。
●接続された直後にノイズが発生することがあります。

1 1台目のヘッドホンとBluetooth送信機をペアリングする
上記の「Bluetooth送信機とヘッドホンをペアリングする」を参照して、1 台目とBluetooth送信機をペアリングしてください。

2 送信機、ヘッドホンの両方が青色の点滅に変わったことを確認してから、1 台目のヘッドホンの電源をオフにします。

3 2台目のヘッドホンとBluetooth送信機をペアリングする
1 台目と同様に「Bluetooth送信機とヘッドホンをペアリングする」を参照して、1 台目とBluetooth送信機をペアリングしてください。

4 2台目のヘッドホンとBluetooth送信機の両方が青色の点滅に変わったことを確認します。

5 1台目のヘッドホンの電源をオンにします。
2 台目のヘッドホンを接続したまま、1 台目のヘッドホンの電源をオンにします。
1 台目のヘッドホンがオンになると自動的にBluetooth送信器へ接続を試みます。

6 両方のヘッドホンのLEDランプで接続状態を確認してください。
1 台目、2 台目ともLEDランプが接続時の状態になれば接続完了です。

他の機器とヘッドホンをペアリングする

スマートフォンや携帯オーディオプレーヤーとヘッドホンを接続するには、接続する機器とヘッドホンをペアリングする操作が必要です。

1 ヘッドホンをペアリングモードにする
「Bluetooth送信機とヘッドホンをペアリングする」を参照してください。

2 接続先機器からヘッドホンを検索
ペアリングしたい機器(携帯電話やパソコンなど)から、本製品を検索します。
検索方法はご使用の機器によって異なります。接続先機器側の操作については、別紙「簡単接続ガイド」をご覧いただくか、お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

3 接続先機器にヘッドホンを登録
検索された「LBT-OH03」を選択して登録します。
ヘッドホンのLEDが青色の点滅
（8秒に数回の点滅）に変わると、ペアリングの完了です。

●パスキーの入力を促すメッセージが表示された場合は、「0000」（ゼロ 4つ）と入力します。
機器によっては（Bluetooth2.1対応機器）、パスキーの入力なしで登録が完了する場合があります。
●機器によって、ペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をしてください。

右上の手順に続きます

基本操作

電源のオン／オフ

■電源をオンにする
電源がオフの状態でヘッドホンのマルチファンクションボタンを約4秒間長押しすると、LEDが青色に点滅（1秒に1回の点滅）、電源がオンになります。すでにペアリング済みの機器が近くにある場合、自動的にその機器に接続を試みます。接続が完了すると、LEDは青色の8秒に 1 回~ 3 回の点滅に変わり、機器が使用できるようになります。
※携帯電話より「LBT-OH03からの接続を許可する」操作や、接続操作が必要な場合があります。

■電源をオフにする
電源がオンの状態でヘッドホンのマルチファンクションボタンを約4秒間長押しすると、LEDが赤色に点滅したあと消灯して電源がオフになります。

テレビの電源をオフにしても、ヘッドホンの電源はオフになりません。

オートパワーオフ機能について
携帯電話の電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合や、電源をオンにしたあと、ペアリング相手がいない場合、約5分後に電源がオフになります。電源がオンの間は、LEDは青色に点滅します。

音楽を聴く

本製品とA2DP対応の携帯電話、携帯音楽プレーヤーを接続し、音楽を再生すると、プレーヤーの音声を本製品から聴くことができます。
また、AVRCP（リモコン機能）に対応した機器との接続ならば、本製品からプレーヤーの操作をすることができます。

●本製品は、SBC/AAC/actXのコーデックに対応しています。
接続されるコーデックは、接続先の対応状況によって自動的に選択されます。
●リモコン機能操作は、接続する機器や使用する音楽プレーヤーのアプリケーションによって動作しないことや、動作が異なることがあります。

■音量を調整する
音量を大きくする時は、音量調整ボタンの⊕を押し、音量を小さくする時は⊖を押します。

■音楽の再生/ー時停止（AVRCP）
電源がオンの時に⏯を1回押すと、音楽を再生します。再度押すと、停止します。
AVRCP非対応の機器の場合は、音声がミュートします。

■曲送り/曲戻し（AVRCP）
曲送りボタン◁を押すと、次の曲にスキップします。
曲戻しボタン▷を押すと、再生中の曲の先頭にスキップします。直後にもう一度押すと、前の曲にスキップします。

携帯電話などで通話する

携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。

■電話を受ける
ヘッドホンから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを1回押します。

■電話を切る
通話状態で、ヘッドホンのマルチファンクションボタンを1回押します。

■リダイヤルする（最後に発信した通話先）
ヘッドホンのマルチファンクションボタンを「カチカチッ」と2回押します。
※着信した相手へのリダイヤルはできません。

■発信する
携帯電話側で発信操作を行い、その後出力先の切り替えを行います。
＜操作例＞

種類	操作方法
iPhone	音声出力先に本製品（LBT-OH03）を選択します。
Android	発信後に、Menu を表示させ、「Bluetooth」ボタンを押します。
docomo	携帯電話で発信後、「通話」ボタンを長押しします。
au	携帯電話で発信後、携帯電話の「EZ」ボタンを押します。
Softbank	携帯電話の機種によって異なります。接続される機器の説明書を参照してください。

※出力の切り替え方法は使用する機器により異なります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照ください。

■音量を調整する
ヘッドホンの音量調整ボタンを使用します。本製品の音量を最大にしても希望の音量が得られない場合は、ペアリングした機器の音量を調整してください。

裏面の「取り扱い上の注意」や「困ったときは…」もご参照ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下の物が含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- □ ヘッドホン本体 …… 1台
- □ 取扱説明書、保証書 …… 本書
- □ 簡単接続ガイド …… 1部
- □ Bluetooth送信機 …… 1台
- □ USB充電/給電ケーブル …… 1本
- □ RCA変換ケーブル …… 1本
- □ USB ACアダプタ …… 1台

重要なご注意

付属のUSB充電/給電ケーブルは本製品専用です。本製品の充電以外に利用しないでください。コネクタ形状が同じでも、ピンアサインが異なることがあり、故障の原因となります。同様に、他の製品に付属の充電ケーブルで本製品を充電しないでください。

基本仕様

製品仕様		Bluetooth ヘッドホン
製品型番		LBT-TVOH03ABK
Bluetooth　仕様		Bluetooth Ver. 3.0
キャリア周波数		2.4 GHz 帯
周波数拡散方式		FHSS（周波数ホッピング方式スペクトラム拡散）
伝送距離		最大半径 約 10m（障害物がない場合）class 2 ※1
対応プロファイル		HFP（Hands Free Profi le）HSP（Headset Profi le）
		A2DP（Advanced Audio Distribution Profi le）
		AVRCP（Audio/Video Remote Control Profi le）
対応コーデック		SBC/AAC/aptX
記憶可能なペアリング機器台数		8 台
連続待受時間		約 450 時間　※2
音楽再生時間		SBC:16 時間／ AAC:16 時間／ aptX:14 時間　※2
連続通話時間		最大 17 時間　※2
充電時間		3 時間
環境条件	動作時温度／湿度	温度 5 ～ 35℃／湿度 20 % ～ 80%（ただし結露なきこと）
	保管時温度／湿度	温度 -10 ～ +50℃／湿度 20 % ～ 80%（ただし結露なきこと）
外形寸法（幅×高さ×奥行）		176 × 165 × 32mm（突起部分を除く）
質量		約 173g
保証期間		1 年間

製品仕様		Bluetooth オーディオ送信機
製品型番		LBT-AT02
Bluetooth　仕様		Bluetooth 2.1 + EDR
キャリア周波数		2.4 GHz 帯
周波数拡散方式		FHSS（周波数ホッピング方式スペクトラム拡散）
伝送距離		最大半径 約 10m（障害物がない場合）※ 1
対応プロファイル		A2DP（Advanced Audio Distribution Profi le）
対応コーデック		SBC/aptX
環境条件	動作時温度 / 湿度	0℃～ 35℃　20 % ～ 80%（ただし結露なきこと）
	保管時温度 / 湿度	-10℃～ 50℃　10 % ～ 90%（ただし結露なきこと）
入力電圧		DC +5V（USB　ケーブルから給電）
外形寸法（幅×高さ×奥行）		45 × 6 × 33mm（突起部分を除く）
質量		約 8g

※1　距離は、通信するBluetooth機器の性能やそれぞれのバッテリー残量、周囲の環境に依存します。
※2　通信するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために待ち受け/通話/再生時間が短くなる場合があります。

- 2.4GHz帯を使用する無線LAN（IEEE802.11g/b/n）との併用は、電波干渉の発生により利用できない場合があります。
- 本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。

取り扱い上の注意

■正しくお使いいただく前に

本製品を正しくお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

警告　ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

●屋外で使用する際は、周りの安全に十分に注意してご使用ください

車の運転中にはヘッドホンを使用しないでください。
屋外で使用する際は、周りの状況がわかるように音量を適度に調整してご使用ください。
また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場など安全に注意が必要な場所では本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

●万一、異常が発生した時は

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをUSB ACアダプタなどのUSB電源から抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

●高温のまま放置しないでください

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
車の中には絶対に放置しないでください。本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。
また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください。
また、必要な充電時間を終えて充電が完了しない場合も、いったん充電ケーブルを取り外してください

所定の充電時間を超えて充電した場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

●分解しないでください

本書の指示に従った作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

●病院内や航空機の中などでは使用しないでください

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類などの誤動作の原因になります。

注意　ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を負う恐れがある項目です。

●本体は精密な電子機器のため衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください

●車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください

ご使用の車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

●小さなお子様の手の届くところに保管しないでください

思わぬ事故を招く場合があります。

●充電中は、本製品およびUSB充電ケーブルの周りに物を置かないでください

発熱、発火、火災、やけどの原因となります。

●ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください

本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

●定期的に充電してください

本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に1度を目安に充電してください。

●日本国以外では使用しないでください

この装置は日本国内専用です。国外では独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。

■その他：こんなことにも注意してください

- 静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- 本製品が汚れたときは、水またには中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。
- 水気の多い場所での使用/保管はしないでください。本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因になります。

■電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートまでお問合せください。

使用周波数帯域：2.4GHz
変調方式：周波数拡散方式 FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum）
想定干渉距離：約10m（障害物のない場合）
周波数変更の可否：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

■内蔵バッテリーについて

バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。

●本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
●周囲温度が低い環境では、持続時間が短くなります。
●リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合は、テクニカルサポートへご相談ください。

■廃棄について

本製品は内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。リサイクルにご協力いただける場合は、テクニカルサポートへご相談ください。

困ったときは・・・

基本操作、ペアリング時

電源が入らない

本製品のバッテリーが充電されているかどうかを確認してください。バッテリーが充電されていない場合は、バッテリーを充電してください。

Bluetooth搭載機器とペアリングできない

①接続先機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。
ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度ペアリングモードにして設定する必要があります。
②ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。
③オールリセット（工場出荷値に戻す）操作を試してください。
電源をオンにし、接続先の機器と接続されていない状態で操作します。
まずマルチファンクションボタンを押します。次にマルチファンクションボタンを押（▶Hiから　　を3～4秒間押します。LEDランプが赤色と青色に交互に点滅し、接続機器の情報が本機から削除されます。
オールリセットした後、本機の電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。再度接続したい機器とペアリング操作をしてください。

携帯電話利用時

着メロ/着信音が聞こえない

着メロが設定されていても、ヘッドホンからは通常の呼び出し音が聞こえます。携帯電話に設定した着メロは利用できません。また、携帯電話の機種によってはBluetooth設定の「ハンズフリー着信鳴動」を鳴らすように設定（「接続相手も鳴動」などに設定）する必要があります。

着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない

一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。

着信前に留守番転送されてしまう

着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声が転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

携帯電話で通話の音声が聞こえない

一部の携帯電話では、通話中に約20秒以上の無音状態が続いた場合に、自動的に省電力モードになり、イヤホンジャックの音声入出力がオフになります。そのため、通話中でも音声が聞こえなくなることがあります。このような場合は、本製品のマルチファンクションボタンを押して、携帯電話の省電力モードを解除してください。

通話相手に自分の声が聞こえない

一部の携帯電話では、ヘッドホンのマイク入力が有効になるように手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、ヘッドホンのマイクからの音声が通話相手に聞こえません。

その他

ノイズやエコー音が入る

ペアリング相手との距離を変えてみる。音量を調節してみるなどをお試しください。

サポート修理受付窓口のご案内

■製品に関するお問合せ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only.No technical support is available in foreign languages other than Japanese.
よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ　　6409.jp　　（http:　は必要ありません）

テクニカルサポート　TEL:0570-022-022　　（ナビダイヤル）
電話受付時間　月～土10:00～19:00　※夏期、年末年始、特定休業日を除く（祝日営業）

お問合せの前に次の内容をご用意ください。
・弊社製品の型番
・ご利用の携帯電話、ipod、ゲーム機などの型番
・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

■修理について

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。This warranty is valid only in Japan.
製品本体、ACアダプタ以外の付属品は、保証対象ではありません。
（例：イヤーフック、イヤーパッド、ケーブル類、シガーチャージャーなど）
付属品問合せ窓口へメールにてご相談ください。
http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html
修理終息製品の検索、依頼の手順、修理依頼書（PDFファイル）をインターネットへ掲載しております。ご利用が可能であればご確認をお願いします。
http://www.logitec.co.jp/support/service.html
修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理（製品交換の場合あり）してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない（修理終息）場合がありますのであらかじめご了承ください。

■修理ご依頼時の確認事項

・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
・保証期間の有無にかかわらずご送付頂く際の送料はお客様負担となります。
・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
・依頼品にはお客様の氏名、連絡先（ご住所/電話番号）、故障の状態を書面にて添付してください。

修理センター　〒396-0111 長野県伊那市美すず8268番地1000
ロジテックINAソリューションズ株式会社　3番窓口
エレコムグループ修理センター
TEL:0265-74-1423　FAX:0265-74-1403
電話受付時間　月～金　9:00～12:00、13:00～17:00
※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

※製品に関する技術的なお問合せや修理が必要かどうかについてのお問合せは、テクニカルサポートへお願いします。

保証規程

■保証内容

製品付属のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理をいたします。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただき、添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。保証期間内の修理を依頼される場合には、ご購入年月日の確認できるもの(販売員印のある保証書、保証書シール、レシート)を添付してください。

■保証適応外事項

保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。
1.本保証書の提示をいただけない場合。
2.本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
3.お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、破損の場合。
4.火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、または異常電圧等による故障、損傷の場合。
5.接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が発生した場合。
6.弊社および弊社が指定するサービス機関以外で、修理、調整、改良された場合。
7.マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用方法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。

■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修正依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的のための関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示要求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますので、ご安心ください。

Logitec

保証書

製品名		保証期間
□ LBT-TVOH03ABK	★シリアルNo.(製品本体に記載)	ご購入日から 1年間

★お客様ご記入欄

フリガナ
お名前
ご住所　〒 TEL（　　）　-

☆ご販売店様

ご購入日
ご住所・店名・TEL・ご担当者名

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証書に記載された期間、規程のもとに修理を致します。修理をご依頼の場合は、必ず本保証書を添付してください。また、保証書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。★印の欄は、お客様にご記入いただくものです。
☆の欄は、販売店でご記入いただくものです。記入が無い場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

ご販売店様へ
お客様へ商品をお渡しするときは、必ず☆印の欄に所定事項をご記入ください。記入漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられませんのでご注意ください。

●仕様および外観等は製造改良の為、予告無く変更する場合があります。
●記載されている商品名会社名等は一般に商標または登録商標です。
●すべての携帯電話、Bluetooth機器との動作を保証するものではありません。
●日本国内での使用を想定して設計されております。
●製品保証は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan. This product is for domestic use only.
No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

BluetoothおよびBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG Inc.の商標です。
そのほか、この取扱説明書に記載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における　および TM は省略しています。

Bluetoothワイヤレスヘッドホン 取扱説明書
2012年11月初版
ロジテック株式会社

© 2012 LOGITEC CORPORATION All rights reserved.